

SEA CLOCK



~作り方~

ver.2024.7.8

エポキシレジンとは？

エポキシレジンとは「**主剤**」と「**硬化剤**」の2液を混ぜて化学反応により硬化させる樹脂のこと

-----※硬化不良を防ぐ※-----



注意点①

比率を間違えない

注意点②

よく混ぜる



※取り扱う際※



★3種類のレジン★

波専用レジン



混合比 **2:1**
主剤 硬化剤

硬化時間 **25°C 2日間**

適応作品 波アート等の薄い作品

クリスタルモールドレジン



混合比 **3:1**
主剤 硬化剤

硬化時間 **23°C 3日間**

適応作品 トレーやキューブ等の分厚い作品

コーティングレジン



混合比 **4:3**
主剤 硬化剤

硬化時間 **23°C 3日間**

使用用途 作品のコーティング

用意するもの



材料

■波専用レジン ■Resin off ■シュプリームホワイト ■Cell Add ■時計盤 ■着色剤

道具

電子スケール ヒートガン 非接触型温度計 ガストーチ スポット
ビニール手袋 紙コップ 混ぜ棒 竹串 布

★作り方★



①板の裏にレジンオフを塗る

流したレジンが裏面に付かない様にする為、レジンオフを布で塗る。

※マスキングテープでも可⇒すごく手間がかかる



②レジン进行混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジン进行混ぜる。

レジン使用量120gの場合(主剤80g:硬化剤40g)

気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。





③ レジンの粘度をつける

レジンの硬化熱で樹脂温度が**38~42度**くらいになるまで放置する。

硬化が遅い時(気温が低い)はヒートガンで樹脂を温める。その場合、使用したい温度より3度くらい低い温度で次の工程へ。



④ レジンを3つに分ける

紙コップに白波用レジンを10g取り分ける。
残った110gのレジンを2等分(海色用)にする。



⑤ レジンに着色剤を混ぜる

紙コップに10グラム(波用)を取り分け、シュプリームホワイト(大豆1個分くらい)を混ぜる。

青系の着色剤はレジンの硬化を早める性質があるので
青より遠い色から着色する。 例) 白→緑→青



⑥ 板に海色レジンを流し込む

板の下に紙コップを置き、板を浮かせた状態で作業を行う
海色レジンを板に流し、ヘラや指でレジンを広げる。
手前の色を流すときは、波の形も同時に作る。



⑦ 粘度を確認し、白レジんにCell Addを混ぜる

白レジンを**流す直前に**Cell Addをスポイトで入れて混ぜる。

※10gに対して4~6滴



⑧ 白レジンを波打ち際のフチに流す

海色レジんと木製パネルの両方に被るようにして一本線を描く様に白レジンを流す。

白レジんと海色レジンの間に隙間が出来ない様にする。
隙間がある場合はヘラなどで埋める。



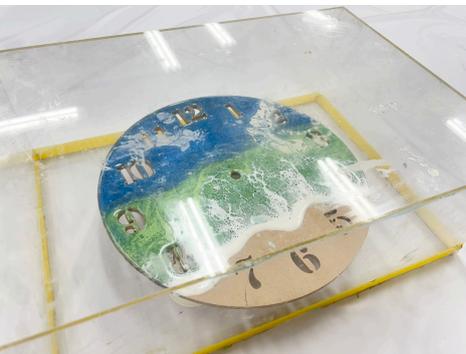
⑨ ヒートガンで波を広げる

白レジンが海色レジンの上に、薄く膜を張るように風を当てる。
1ヵ所だけに風が当たり続けられない様にヒートガンを左右に振りながら風を当てる。



⑩ ガストーチで気泡を飛ばしながら穴の中のレジンを取り除く

竹串を使用し数字の穴の中にこぼれたレジンを取り除く。
この作業を行うことで完成後の精度が上がる。



⑪ 約2日間硬化を待つ

硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。



⑫ 完全硬化後にレジンを剥がす

スクレーパーのようなものでレジンを剥がす。
レジン痕が残った場合はヤスリで削る



SEA CLOCK完成!

※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます

※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます

※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒



LINE



Instagram

ハンドメイド素材の店

～ハンドメイドで使用する材料を豊富に揃えています～



オリジナル材料
その他材料の購入はこちら⇒

